

安価で簡易

大地震時の木造住宅倒壊から命を守る 防災ベッド等・耐震シェルターの設置費の 補助金額を **UP** します！

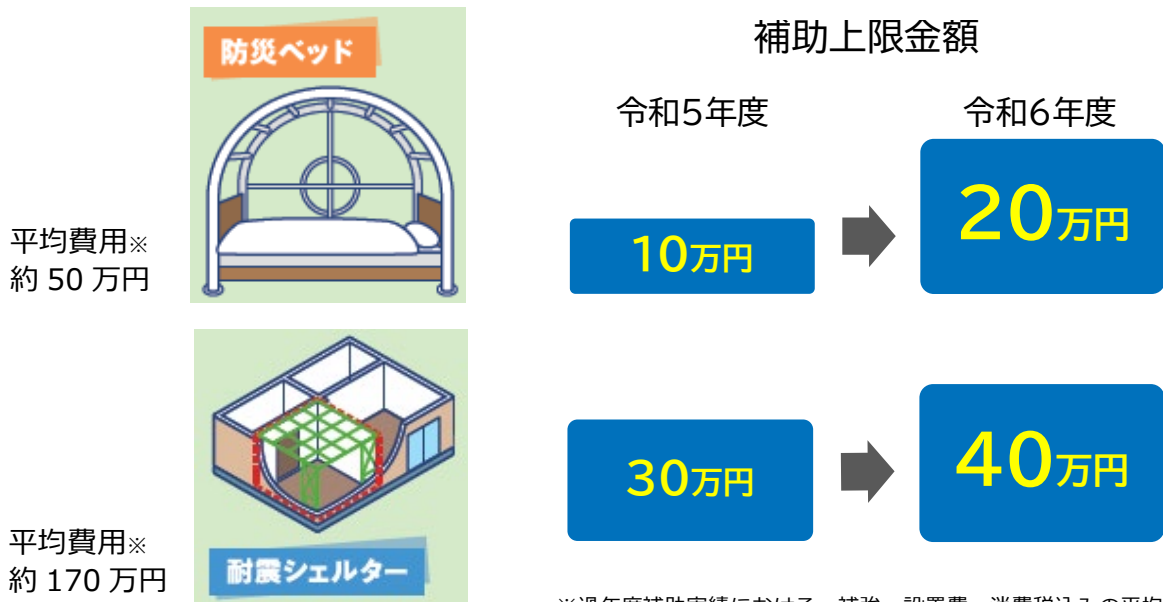
令和6年度
より増額！

令和6年1月1日の能登半島地震では、古い木造住宅の倒壊により多くの命が失われました。大地震時に建物の倒壊を防ぐ耐震改修工事等が最良の防災対策ですが、費用等の課題により難しい場合は、命を守るための減災対策もあります。

横浜市では、旧耐震基準（※）の木造住宅にお住まいの方に向け、比較的安価で設置が簡易な防災ベッド・耐震シェルターの設置費の一部を補助しており、令和6年度よりその補助上限金額をそれぞれ **10万円** ずつ拡充します。

建物が倒壊しても最低限の生存空間を確保できる「防災ベッド・耐震シェルター」の設置を、ぜひご検討ください。

（※）旧耐震基準：昭和56年5月末以前
に建築確認を得て着工された建物



補助事業の詳細、対象製品リストについては
横浜市ホームページをご確認ください。

横浜市 防災ベッド



お問合せ先

建築局企画部建築防災課長 神谷 賢 Tel 045-671-3592